

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスファイン		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 12日 ~ 2025年 3月 18日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年 3月 12日 ~ 2025年 3月 18日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 19日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	就労継続支援B型事業所との多機能型なのと、他にも共同生活援助事業や相談支援事業などが存在しているので相互作用が期待できます。特に福祉就労の場が身近にあることによって本人やご家族が心配される、各ライフステージ事の課題に関して助言等を行いやすい環境。	毎週月曜日にB型の利用者との交流イベント、水木は外国人職員との交流	・障がい者同士の共生→B型利用者との交流 ・国際理解と多文化共生を促し→外国人ヘルパーとの交流、外国人職員との交流 ・イベントへの参加
2	主事業である就労継続支援B型の職員数が多いことから児童が色々な職員と関わることができる。また、職員も児童の成長を見守っているのでお互いに相互作用が生まれる。また職員や利用者、ご家族も含めると関係している人数が多い。	多機能型により、就労Bの職員と児童が関わる機会が多くある。	長期休み時の活動としてB型の作業体験
3	事業の継続力。事業を多面的に行っているので、資本面でいきなり閉所する可能性が低いと考えられます。		療育に係る備品等の購入

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	知名度が低い	町内での宣伝不足	町内のスーパー等へのチラシの掲示、インスタアカウントの運用
2	ペアレントトレーニングの実践と取組が弱い	近年、親が抱える子どもの療育や悩みなどを事業所として、親子ともに支援を考えていく事。ペアレントトレーニングを行い親と子の関係性や一緒に行う療育を良い方向に改善していきたい。	親が同席する、授業参観ではなく療育参観を行いたい。
3	室外活動の少なさ	利用児童と色々な場所で体験活動をもっと行いたい。	八雲町の社会資源を洗い出し、農業や酪農、漁業や林業など、体験活動や見学を増やしたい。